



平成27年度京都大学防災研究所 共同研究・一般研究集会「台風研究会」のご案内
 「複合系台風災害のメカニズムに関する研究集会
 —気象学・海洋学・海岸工学・土木工学・建築工学・生態学を交えて—」

2013年台風第30号は、フィリピンに強風と高潮をもたらし、5000人以上もの死者が出ました。2014年台風第11号や12号も、西日本に大雨をもたらし、土砂災害などの被害が出ています。このように、台風の被害は複合的に発生するために、その対策・軽減は難しいのが現状です。そこで、異分野の研究者が一同に集い、それぞれの視点からの研究成果を交わすことで、複合系台風災害のメカニズムの解明と対策を提案することを目的とします。

研究代表者：筆保弘徳（横浜国立大学）
防災研担当者：竹見哲也（京都大学防災研究所気象・水象災害研究部門）
主催：京都大学防災研究所
日時：2015年10月31日（土）、11月1日（日）

場所：京都大学宇治キャンパス 防災研究所連携研究棟3階大セミナー室
 （JR 奈良線黄檗駅、京阪電車黄檗駅 徒歩約10分）

講演をご希望の方は、2015年8月19日（水）までに、演題や講演者名などの情報を合わせてお申し込みください。旅費の支給をご希望の方は、その旨もお知らせください。参加のみご希望の方も、同様にご連絡ください。なお、旅費支給は学生と講演者を優先いたします。そのため、参加者数により完全にご希望にそえるとは限りませんが、ご了承ください。また、観光シーズンで混みあう時期のため、早めに宿泊先を各自でご準備ください。

申し込み先：筆保弘徳 fude@ynu.ac.jp